

# 徳田雄一郎 Profile



1981年3月9日生まれ。サクソ奏者／ボーカリスト／作曲家。03年、バークリー音楽院卒（米国、ボストン）  
06年、自らがCEOを務める GoodNessPlus 合同会社及び、音楽レーベル「GoodNessPlus Records」を設立。  
現在までに8枚のアルバムを発表。（レーベルとしては11バンド31作品をリリース R3年3月現在まで）  
「現在進行形ジャズの、ひとつの最先端だろう。」(ジャズ専門誌"Jazz Life") など各界から注目を浴びる。

08年1月、第6回千葉市芸術文化新人賞受賞。

11年5月、初海外公演。マレーシア BORNEO JAZZ FESTIVAL 2011 に出演。

11年6月、全米、ヨーロッパ放送【BBC Radio America / WGBH Boston】にて

【The story of Japanese Jazz artist Yuichiro Tokuda】が放送される。

11年10月、中国 第10回記念南京国際ジャズフェスティバルへ出演。

12年3月、世界最大規模ミュージック・カンファレンス【Canadian Music Week 2012（以下、CMW）】（加、トロント）30周年を記念し、CMWの一環として初めて開催されたジャズフェスティバル

【CMW Winter Jazz Festival】に日本人初出演。

13年3月、アルバム【Crossing Colors】を発表。同時に5月まで発売記念世界ツアーを行う。

各国ジャズフェスティバル、ジャズクラブに出演。

カナダ、マレーシア、インド、日本ツアーを行い、現地満員の観衆を動員し大成功に収める。

またカナダでは、12年に続き Canadian Music Week に2年連続出演し、

出演数1000バンドを越す中、評論家投票で10点満点中9.8ポイントの第一位評価を獲得する快挙を果たす。

国際作曲コンペティション（米）他、ジャズ部門 2010,11,12,13,20,22 年度にて

WINNER／奨励賞／FINALIST を受賞

14年、中東ヨルダン"Amman Jazz Festival"、中国泉州市にて横浜ジャズプロムナード代表として公演

韓国 Jarasum International Jazz Festival 出演

15年16年、ヨーロッパツアー、インドツアー開催

16年5月、主演伊藤英明・テラフォーマーズ（ワーナー・ブラザーズ映画）にサクソ奏者として出演する

17年7月、漫画・宇宙兄弟×コニカミノルタ・プラネタリウムの音楽を全面的に担当する。

19年8月、国内最高峰・浜離宮朝日ホール公演開催（満席）

19年、セガトイズ最新機種プラネタリウム家庭用上映機・第一弾作品【星の旅人】音楽全面担当

21年、2020年度に発売された全ての Jazz Album から選ばれる

【Jazz Japan Award 2020 : Album Of The Year : 特別賞】受賞

また、自己のバンド【徳田雄一郎 RALYZZDIG】を中心に、世界的に活動の幅を広げている。

【RALYZZ DIG(リリースディグ)】 Dig "RAY + LYRIC + JAZZ" = "熱く叙情的で胸打つジャズ"を探求する。

## 主要バンド／メンバー

徳田雄一郎 RALYZZDIG (レリーズディグ / “RAY”+“LYRIC”+“JAZZ”& DIG )

徳田雄一郎 Sax, Vocal, Composition, Leader <http://www.yuichirotokuda.com/>

鈴木直人 Guitar <https://ameblo.jp/naotothebomb/>

柳隼一 Piano <http://shunichiyangi.web.fc2.com/menu/schedule.html>

細谷紀彰 Bass <https://www.noriakihosoya.com/>

山田玲 Drums <https://twitter.com/akiradrums0325>

## 海外での活動歴

2011年5月：BORNEO JAZZ FESTIVAL (マレーシア・ミリ)

2011年10月：南京国際ジャズフェスティバル (中国・南京)

2012年3月：CANADIAN MUSIC WEEK \_ WINTER JAZZ FESTIVAL (カナダ・トロント)

2012年3月：在カナダ日本大使館主催・絆コンサート単独公演 (カナダ・オタワ)

2013年2月：INDIA TOUR with Dhruv Ghanekar/Sheldon D'Silva/Gino Banks (インド各地)

2013年3月：CANADIAN MUSIC WEEK \_ WINTER JAZZ FESTIVAL (カナダ・トロント)

2013年4月：MANGO JAZZ NIGHT (マレーシア・コタキナバル)

2013年5月：WORLD YOUTH JAZZ FESTIVAL (マレーシア・クアラルンプール)

2013年5月：INDIAN JAZZ CLUB TOUR (インド・ムンバイ&バンガロール)

2014年5月：AMMAN JAZZ FESTIVAL (ヨルダン・アンマン)

2014年8月：横浜ジャズムロムナード代表として中国泉州市公演

2014年10月：JARASUM INTERNATIONAL JAZZ FESTIVAL (韓国・チェラ島)

2015年3月～4月：Joris Posthumus Quintet Tour (オランダ、ベルギー)

2015年6月～7月：Ricardo Garcia & Yuichiro Tokuda “Flamenco Jazz Tour” (フランス縦断)

2015年9月：Aman Mahajan Quartet Tour (インド各地)

2016年2月：Aman Mahajan Quartet Tour (インド各地)

2016年5月：WORLD YOUTH JAZZ FESTIVAL (マレーシア・クアラルンプール)

2016年5月：BORNEO JAZZ FESTIVAL (マレーシア・ミリ)

2016年8月：Edinburgh Festival Fringe (イギリス・スコットランド)

2016年8月：BANSKO INTERNATIONAL JAZZ FESTIVAL (ブルガリア)

2016年8月：NISVILLE INTERNATIONAL JAZZ FESTIVAL (セルビア)

2016年11月：GOA INTERNATIONAL JAZZ FESTIVAL (インド)

2016年11月：KOLKATA INTERNATIONAL JAZZ FESTIVAL (インド)

2016年11月：PUNE INTERNATIONAL JAZZ FESTIVAL (インド)

2017年4月：Joris Posthumus's Tokyo's Bad Boys Tour in EU (ベルギー、オランダ)

2017年7月：North Sea Jazz Festival (オランダ)

2017年8月：Edinburgh Festival Fringe (イギリス・スコットランド)

2018年4月：Collaboration Concert with Great “Rosario Giuliani” & Legendary “Joe LaBarbera” in Japan

2019年5月：WORLD YOUTH JAZZ FESTIVAL (マレーシア・クアラルンプール)

2020年2月：All Angels Music Festival (ハワイ)

2020年6月：Sile International Jazz Festival (イタリア) ※コロナの為、延期

2020年10月：Cairo International Jazz Festival (エジプト) ※コロナの為、延期

2021年8月：Yippee-Ki-YAY Music E Festival (アメリカ／ワールドワイド)

MV:

[https://youtu.be/\\_7tj4jLAPU4](https://youtu.be/_7tj4jLAPU4)

<https://youtu.be/9aKselVuN2I>

<https://youtu.be/KV-lbQBHdUQ>

LIVE VIDEOS from International Jazz Festival:

<https://youtu.be/qPEqwPjgmAo>

<https://youtu.be/3jIlWmJ3htY>

<https://youtu.be/WCBwu5LvleA>

## 徳田雄一郎 RALYZZDIG 現在までの作品に対する音楽業界の評価

### **Initial Impluse (GNPR-1139/2007 release)**

【現在進行形ジャズの、ひとつの最先端だろう。】(Jazz Life/07年3月号)

【ジャズとロックの完璧な融合。最も魅力的でジャンルを超えた Grooving Music. なぜ彼らをここでフィーチャーするのか、皆は不思議に思うかもしれない... なぜなら彼らの音楽が"素晴らしい"から。心を解き放ち、彼らの音楽を聞いてみて下さい。】(NEO Magazine/12年1月号 ニューヨークシティーマガジン)

### **Urban Lights / 海時風色 (GNPR-1139/2007 release)**

【その勢いが、空気を変える。「議論をやめて、音を聴こう...」そう云わしめる、若き獅子たちの彗星盤!】

(Jazz Today/07年)

### **Imagination Live @ 新宿 PIT-INN (GNPR-1141/2010 release)**

【ライブならではの熱気と独特な音色の特異奏法による、延々70分の強力フルアルバム!】

(Jazz Life/10年6月号)

【...全編を通し圧巻の一言!★】(CD Journal/10年8月号)

### **Imagination (GNPR-1142/2010 release)**

【タイトル曲"Imagination"に脱帽。時代を超越している、と切り切れるほどの佳曲。】(CD Journal/10年8月号)

【リリースディグのパフォーマンスの最中、終始歓声が響き渡っていた。そして、最後にとてつもなく大きな喝采を観衆から浴びていた。ボルネオジャズの観衆の評価は嘘偽りの無いものである事を記す。ストレイトアヘッドジャズ。】(Worldwide Jazz 専門サイト"All About Jazz" /11年5月 BORNEO JAZZ 2011, Malaysia \_REVIEW)

### **Crossing Colors (GNPR-1145/2013 release)**

【人種や血から発するサウンドに喚起された、新基軸!間違いなくダントツの最高作。】(Jazz Life/13年4月号)

【今、ここまで包括的なジャズを聴かせるバンドは世界のどこにもない。最高傑作。】(CD Journal/13年5月号)

【まぎれもなく今日のジャズ空間を切り裂きながら、彼らのプレイは未来へと疾走している。】

(Jazz Japan/13年5月号)

【世界の舞台に自分の信じる音楽を続ける徳田は、無限の可能性を秘めている。】

(Jazz Japan/13年5月号\_徳田雄一郎特集記事より抜粋)

### **WIND (GNPR-1152/2018 release)**

【一陣の風のように心を揺さぶってくれる。それは突風でもなければそよ風でもない。心地は良いが、それだけにとどまらず、力強さもある。このバランスが絶妙だ。

ノルマンディから宇宙まで、この風はどこまでも吹き続ける。】(Jazz JAPAN/18年10月号)

【その圧倒的な熱量と豊かな叙情性を持つコンテンポラリー・ジャズは一度聞いたら耳から離れない... 音楽に"リアル"な響きがあるのは、実体験で身に付けたものが反映されるからだろう。

世界を旅する吟遊詩人であり、リアリストなのである。】(Jazz JAPAN/18年10月号)

【従来の跳躍的なドライブ感に加え、異国での風景観測や、心を締め付けられるエスニシズム、フラメンコに使用される手拍子、自らの甘いヴォーカルまで披露する。新たな境地を求め、自然体ながら強盛な気概を保ち、常に成長と変化に挑戦してきたバンドとしての矜持が見える。】

(Tower Records intoxicate/18年10月号)

### **God dwells in everything – 全ての物に神は宿る (GNPR-1164/2020 release)**

【徳田雄一郎と彼のバンド RALYZZDIG, 彼らは現在の危機的状況と、その後の世界をじっくりと見据え、一つの道標ともいうべき壮大なる一大叙情詩を編み上げた。コロナ禍がもたらした空前絶後の作品。力を、希望を失いかけている人、皆におすすめしたい。】(Jazz Japan/20年12月号\_徳田雄一郎巻頭特集記事)

【徳田も意識したと思うが、コルトレーンの『至上の愛』を思い出してしまった。それにしても壮大な音楽観と演奏によるアルバムを完成させたものだ。1981年生まれのサクソ奏者、徳田雄一郎はいまもっとも創造性に溢れた音楽家のひとりだ。】(Jazz Japan/20年12月号)

【これほどの大作を作り上げてしまう精神力と創造力に感服する。徳田が全身全霊を捧げた会心の一作。】

(Jazz Japan/20年12月号)

【音楽によって2020年を描き出す力作。バンドの演奏レベルの高さと結束力の強さを示す演奏が満載。】

(Jazz Life/20年11月号)

【自身の音楽に忠実に、それでいてアグレッシヴに表現する会心作。】

(Tower Records intoxicate/20年11月号)

## **音楽提供経歴**

07年10月~2009年3月：千葉テレビ【News C Master】OPテーマ曲提供

15年3月：BS-TBS 開局15周年2夜連続特別企画【伊藤英明の大シベリア】音楽制作

15年12月：トークバラエティ番組【シロウト女子のえびす裁判】(MC・蛭子能収) OPテーマ曲制作

16年5月：映画【テラフォーマーズ】(監督・三池崇史、主演・伊藤英明) 楽曲制作、出演(サクソ奏者役)

16年12月公開予定：映画【土竜の唄】(監督・三池崇史、主演・生田斗真) サクソ演奏提供

17年8月：コニカミノルタ・プラネタリウム作品 宇宙兄弟 南波六太がやってきた！音楽監督

19年：セガトイズ最新機種プラネタリウム家庭用上映機・第一弾作品【星の旅人】音楽監督

## **DISCOGRAPHY**

"Zero to 0" 2005

"Initial Impulse" 2007

"Urban Lights / 海時風色" 2007

"Imagination LIVE @ 新宿 PIT-INN" 2010

"Imagination" 2010

"LIVE @ Akasaka B-flat" 2012

"Crossing Colors" 2013

"WIND" 2018

"God dwells in everything – 全ての物に神は宿る" 2020

## 活動歴・受賞歴

“The story of Japanese Jazz artist Yuichiro Tokuda” @ BBC Radio Americaにて 2011/6/15 全米・欧州放送.

2008年1月：第6回千葉県芸術文化新人賞受賞

2011年6月：国際作曲コンペティション 2010 ジャズ部門 “WINNER 及び 奨励賞受賞”

2011年9月：全英作曲コンテスト 2011 ジャズ・ブルース部門 “FINALIST 受賞”

2011年12月：全米作曲コンペティション 2011 ジャズ部門 “FINALIST 受賞”

2012年12月：全英作曲コンテスト 2012 ジャズ・ブルース部門 “FINALIST 受賞”

2013年6月：国際作曲コンペティション 2012 ジャズ部門 “WINNER 及び 奨励賞受賞”

2014年6月：国際作曲コンペティション 2013 ジャズ部門 “WINNER 及び 奨励賞受賞”

2020年12月：全米作曲コンペティション 2020 ジャズ部門 “FINALIST 受賞”

2021年2月：JAZZ JAPAN AWARD 2020：Album Of The Year – 特別賞受賞

2022年5月：国際作曲コンペティション 2022 ジャズ部門 “WINNER 及び 奨励賞受賞”

## 海外インターネット記事等

<http://www.thescenemagazine.ca/cmw-2013-live-review-yuichiro-tokudas-rallyzdig/>

<https://www.pri.org/stories/2011-06-15/japanese-jazz-artist-yuichiro-tokuda>

[http://www.neomagazine.com/2012\\_01\\_january/78.html](http://www.neomagazine.com/2012_01_january/78.html)

<http://www.public-republic.net/nr-artist-of-the-week-rallyz-dig/>

<https://youtu.be/v4xAZo6GbDU>

[https://www.ca.emb-japan.go.jp/JapaneseSite/Kohobunka/2012events/kizuna\\_concert\\_12.htm](https://www.ca.emb-japan.go.jp/JapaneseSite/Kohobunka/2012events/kizuna_concert_12.htm)

<https://www.youtube.com/watch?v=5-mPOiV3T4I&feature=youtu.be&t=590>

<https://www.allaboutjazz.com/god-dwells-in-everything-yuichiro-tokuda-goodnessplus-records>

[Yuichiro Tokuda Saksofonis muda peraih Japan Jazz Award – WartaJazz.com | Indonesian Jazz News](#)

## 国内ホールコンサート開催実績（令和元年12月現在まで）

2007年7月 千葉県文化センター アートホール（497席・満席）

2009年4月 千葉 京葉銀行文化プラザ 音楽ホール（719席・一階席満席）

2010年11月 千葉県若葉文化ホール（517席）

2011年12月 千葉県若葉文化ホール（517席）

2012年12月 千葉県若葉文化ホール（517席）

2013年12月 千葉県若葉文化ホール（517席）

2015年12月 千葉県若葉文化ホール（517席）

2016年12月 千葉県文化センター アートホール（497席）

2017年12月 千葉県若葉文化ホール（517席・満席完売）

2018年4月 千葉県美浜文化ホール（354席・満席完売）

2018年9月 横浜市開港記念会館（478席・一階席満席）

2018年12月 千葉県美浜文化ホール（354席・満席完売）

2019年8月 東京・浜離宮朝日ホール（500席・満席）

2019年12月 千葉県若葉文化ホール（517席・満席）

2020年12月 千葉県若葉文化ホール（517席・満席 ※コロナにより客席半数）

2021年8月 千葉県美浜文化ホール・音楽ホール（152席・満席 ※※コロナにより客席半数）

2021年12月 千葉県若葉文化ホール（517席・満席 ※コロナにより客席半数）